

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はんざわ体操クラブ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日	～	2025年 12月 20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数)	54人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 20日	～	2025年 10月 30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	10人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動場所として体育館、デイルーム、ログハウスがありそれぞれの場所での活動が違い様々な活動が可能です。	体育館では体操教室が行われており、体験や習い事としての利用が可能です。本格的な体操器具を利用したり触れる事が出来ます。	体育館での活動は、トランポリンをはじめボール遊び、バトミントン等の道具を用いて活動しています。デイルームでは、活動のニーズに添えるような遊びや宿題を取り組むスペースを確保しています。ログハウスでは、カラオケの機材を設置して音楽を楽しみながら言葉のトレーニングや気分転換を行える空間として利用が出来ます。
2	平日の利用以外に土日祝日も営業しています。その場合、昼食やおやつを無償で提供しています。	昼食のメニューは、一般的にメジャーな献立を選び出来るだけ好き嫌いがなく、食事が出来るような食材を使用しています。苦手な食材があっても周りの影響を受けながら、苦手な食材を克服できるような雰囲気づくりをしています。	昼食やおやつに対する食物アレルギーにも対応していますが、メニューに満足いただけない場合はお弁当などを持参する事も可能です。
3	児童発達支援、放課後等デイサービス事業の両方の利用が可能です。	利用する年齢幅があり、土日、祝日の利用には兄弟でのご利用が可能です。兄弟以外での関わりの中でお互いに考える力を大事に育てながら自立に向けて学び楽しむことが出来ます。	ご利用の皆様には送迎サービスがご利用いただけるように、曜日ごとに送迎先や方面をまとめて保護者さまの負担がないようにさせていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体育館内には、体操器具が設置されているのでワイヤーの使用や高さのある道具がある為、活動中の行動を予想しながら危険性がないように常に支援員が目配りをして安全を確保する事が必要です。	高さのある平均台や跳馬、器材を使用する場合には、体操指導員が監視の上行い、より安全に活動が出来るように常に支援員が分かれて活動を見守ります。	危険個所にカバーを巻いたり、鎖やワイヤーが直接触れる部分に配慮して点検を行い、職員間で相談をしながら設備に影響なく行える活動方法を選び薦めています。
2	年間のイベントや行事活動が少ない。	利用者の年齢層の幅が広い事や常に支援員の支援が必要な状況があるので、職員と利用者のバランスに余裕がない環境があり行事やイベントの回数を増やす事が難しいです。	季節ごとに行うイベントには、全員参加で行っているので安全を確保しながら今後も見直しを行い、楽しむ機会を続けていきたいと思えます。
3	他の事業所や相談事業所等との交流が少ないです。	地域で行われている研修や講義に参加出来るように情報収集に努めます。	各市町村で行われている研修等により多くの職員が参加出来るように、交代で参加する事を推進して、支援の向上を図ります。